



れんごう ふくおか

No. **317**

RENGO FUKUOKA

2017年1月●日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人：西村芳樹 編集人：上野茂伸
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル
TEL.092-283-5529 FAX.092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

2017

賀 正



写真提供：情報労連 NTT労組フィールドテクノ九州分会
加藤 雄一さん

新春対談

「後半年度の取り組み」の仕上げとなる2017年。高島会長を囲んで、西村事務局長、田井・川崎両副事務局長の4名による、①春季生活闘争方針、②「働き方改革」の動向、③政治の動向、を柱として対談を行なって貰いました。



高島会長

会長 ★★★★★

明けましておめでとうございます。いよいよ2年間の方針として一昨年秋の大会で掲げた各課題を仕上げる年を迎えました。連合福岡の役員として全力を挙げなければなりません。



そこで、まずは直面する春季生活闘争について基本的な議論を交わしたいと思います。まず、連合福岡の基本的スタンスを簡潔に説明していただくことから始めましょう。

川崎 ★★★★★

昨年12月に「組織活性化に向けた学習会」を開催しました。その狙いは、春季生活闘争の方針や要求案の策定を自力で行う中小地場労組の支援の為に、経営分析や労働契約、労使の義務等、実践的なカリキュラムを入れた学習会を、実務者を対象に行うべきと判断したからです。

つまり連合福岡の役割としては、中小地場労組の春季生活闘争に向けた土台づくりとなる取り組みを早い段階から開始すべきだと考えたわけです。これから本格化する春季生活闘争での取り組みも、連合福岡として、中小地場労組の活動を後押しすることに視点を置いて、取り組みを進めるべきと考えています。

高島 ★★★★★

そうですね。連合で確認した方針の中では、「社会・経済の活力の原動力であり、付加価値創造の源泉である『働くこと』の価値を高め、働く者が安心して働き続け

られる環境整備が必要である」としています。その中で、中小企業労働者や非正規労働者の月例賃金・時給の「底上げ・底支え」「格差是正」を図ることを重点に置いた取り組みを進めることを明示しています。「底上げ・底支え」「格差是正」という言葉は、スローガンにも示されていますが、この言葉を強調する意味は何なのかを私たちは絶対に忘れず、取り組みを進めなければなりません。

西村 ★★★★★

昨年まで、「経済の好循環」という表現が用いられました。今春闘では、「好循環」を包含して「経済の自律的成長」という表現が用いられています。そしてその具現化のために、マクロの観点から雇用労働者の所得を2%以上引き上げることが必要とし、定期昇給分（賃金カーブ維持相当分）を含め4%程度を要求水準とする確認がなされました。さらに中小労組の支援として、「大手追従・大手準拠などの構造転換」と



「付加価値の適正分配」の運動を前進させる取り組みをすすめることとなります。

具体的な取り組みの一つとして、取引企業の仕入れ価格上昇などを踏まえた価格転嫁問題に対応するため、「取引問題ホットライン」を設置すると共に、地域の経営団体と連携し、世論形成を目的に「地域フォーラム」の開催を考えています。

春季生活闘争は、中小企業で働く70%を占める働く人達の労働環境の底上げを図り、働く者のすべての生活と社会の安定的成長を図るための闘いだということを念頭に、運動基盤をつくらうとしているのです。

司会 ★★★★★

では、次のテーマとして安倍政権の下で動きが目立ってきた労働に関する問題を議論しましょう。

高島 ★★★★★

「同一労働同一賃金」と「長時間労働の是正」を可能とする労働環境整備という一見耳障りの良い言葉がアウンスされ、「それはいいことだ」と思っている組合員も多いかも知れません。政権による「働き方改革実現会議」は昨年9月に動き出しており、労働者代表は神津連合会長ひとりという中で議論されています。政権はどのような議論を進めようとしているのか疑問です。重要な課題として注視しておく必要があります。

とくに、過労死と認定され世の中に問題を投げかけた昨年秋の事件を思い起こし、長時間労働に関する課題や疑問を少し掘り下げてみたいですね。

川崎 ★★★★★

一昨年12月のワタミの和解、昨年11月の電通に対する厚生労働省の強制捜査と、法違反が横行し働く者が苦しんでいる実態が何も改善されていない現実が明らかになりました。労働組合自身が、労働基準法36条の労使協定が適切に締結されているかを検証することが必要です。中でも「特別条項」が適切な設定になっているのか。その上で、労使協定が遵守されているのかを、今一度チェックして欲しいと思います。また、連合は勤務間インターバル規制（原則11時間）の導入や、労働時間管理強化に取り組むことを方針化していま



すが、労働者の命・健康を守ることは労働組合の使命であり、企業に健全な経営を促す意味でも重要な課題であることは明白です。セクハラ、パワハラ問題も含め真剣に取り組むを進めたいと思います。



田井 ★★★★★

労働時間規制の問題は労使間の重要な課題であると同時に政治の課題です。現在、自民・公明両党が衆参両院とも圧倒的多数の議席を占めている中で動き出している

「働き方改革」は、指摘のとおり重要です。「解雇の金銭解決」「時間外労働規制の緩和（残業代ゼロ）」を目論む法改正の動きも見え隠れしています。



このような動きを許さず、「ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」が保障される

社会実現のために、解散総選挙に向け万全の組織体制を整備するとともに、その地盤強化のためにも、今月末の北九州市議会議員選挙での連合福岡推薦候補の全員当選を期すことが重要です。

春季生活闘争に全力を挙げ賃金を引き上げることは労働組合の使命です。しかし、それだけで国民の生活が全て改善されるものではありません。税制や社会保障の課題や、指摘の労働法制に関する課題も、結局は私たちの代表を政治の世界に送らなければ解決しないですね。

こうした課題の実現には、労働組合の力が欠かせません。そしてその力をより強める為には、組織を拡大することが必須の条件です。まずは、自企業の中で正規・非正規を問わずアクションを起こすこと。そして、関連企業の組織化に着手すること。是非、認識を共有し具体的なアクションを起こして欲しいと思います。

高島 ★★★★★

今年のもう一つの私の課題は健康です。今年は、連合福岡の役員はもとより、各構成組織・単組の役員の方にとっても、大変多忙な2017年となるかと思っています。

ただ、労働組合の役員といえども、「ワーク・ライフ・バランス」を忘れてはなりません。家族とお過ごしになる時間も十分大切にしながら、互いに頑張ったと評価し合えるような一年になればと強く願うところです。

皆さん、2017年が良き一年となるよう力を合わせて頑張ってくださいね。

司会 ★★★★★

ありがとうございました。

連合福岡事務局ごあいさつ

組合員のみなさん、明けましておめでとうございます。
 「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け、共に頑張っていきましょう。
 本年も、どうぞよろしくお願い致します。



【下段左より】.....

副事務局長 田井 孝二 (組織・政治局)	会 長 高島 喜信	事務局長 西村 芳樹	副事務局長 川崎 智喜 (政策・労働条件局)
----------------------------	--------------	---------------	------------------------------

【上段左より】.....

職員 吉村 涼	組織・政治局 局長 権藤 英樹	政策・労働条件局 局長 山口 朋宏	政策・労働条件局 局長 豊福 明子	総務局 局長 上野 茂伸	職員 久保しのぶ	職員 上山崎順子
------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------	-------------	-------------



謹賀新年

本年も九州ろうきんを
宜しく願い申し上げます。

九州労働金庫福岡県本部
役職員一同

<http://kyusyu.rokin.or.jp/>
九州ろうきん

つかえるろうきん みんなのろうきん
九州ろうきん

ZENROSAL NEWS
4016Z013



謹賀新年

支えあうことの安心を、
さらに多くの皆さまへ

本部長
品川 浩二
役職員一同

保障のことなら
全労済
全労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保
障の生協として共済事業を営み、
組合員の皆さまの安心とゆとりあ
る暮らしをめざしています。出資
金をお支払いいただいて組合員に
なれば、各種共済をご利用いた
けます。

全労済福岡県本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)

ホームページアドレス
<http://www.zenrosai.coop/fukuoka>